

平成 28 年 2 月 25 日

各 位

新発田市立本丸中学校  
校長 岡田 正栄

平成 27 年度本丸中学校「学校評価」報告

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本丸中学校では教育活動を充実させ「本丸中学校グランドデザイン」の実現に向けて学校評価を行っております。生徒・保護者による 2 学期末のアンケート結果（12 月実施）を基に、教職員が「知・徳・体」の分野に分かれて自己評価し、改善策を立てました。それを学校関係者評価委員会に諮り、ご意見をいただきました。

これらの結果を今年度の「学校評価」として下記のようにお知らせいたします。ご一読いただき、本丸中学校の様子をご理解いただけると幸いです。また、今後とも本丸中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

「知・徳・体」の評価

目標 1

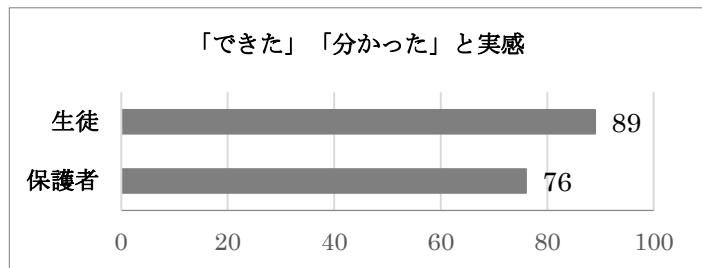
「できた・分かった」と実感して学習している生徒の割合を 85%以上にする	評価 <b>A</b>
--------------------------------------	-------------

（「とても」or「まあまあ」の肯定評価が A：85%以上 B：85%未満～65% C：65%未満）

= アンケート質問 = (H27.12 月実施)

○ 日頃の授業で「できた」「分かった」と実感していますか。

- 1 とても実感している
- 2 まあまあ実感している
- 3 あまり実感していない
- 4 全く実感していない



\* 7 月 生徒 (89) 保護者 (77)

目標 2

Web 配信テストにおいて、各教科 70%以上のクラスが県平均を超える	評価 <b>B</b>
-------------------------------------	-------------

（Web 配信テストで県平均を超えた割合が A：70%以上 B：50%以上～70%未満 C：50%未満）

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	平均
1年生	92%	92%	100%	94%	94%	83%	83%	91%
2年生	73%	60%	87%	60%	73%	60%	73%	78%
3年生	47%	47%	40%	47%	27%	27%	33%	38%
全校	69%	64%	77%	69%	67%	58%	65%	66%

## <分析と改善策>

授業に対する生徒の評価（「できた」「分かった」と実感）は、9教科平均で89%（1学期89%）と目標を上回り、高い水準を維持しています。全職員が日ごろから意識をして授業改善を進めてきた成果だと考えています。また、5月～12月のWeb配信テストの結果、1・2年生はおおむね県平均を超えました。しかし、3年生は県平均を下回ってしまうことが多い結果となりました。全校平均では、県平均を越えた割合が66%で目標の70%まであと一歩でした。昨年度との比較では、県平均を超えた割合が25ポイント向上しており、着実に学力が向上してきているととらえています。

今後は、この結果もふまえて次の点に配慮して取り組みます。

- ① 1学期にファシリテーション（話し合いを円滑に進める方法）についての考え方や手法について研修を行いました。ファシリテーションを授業に導入することによって、コミュニケーションの活性化、さらに生徒の技能・学力の定着につながるようです。引き続き、授業改善に向けた一つの有効な手法として積極的に取り入れていきます。
- ② 学びのユニバーサルデザイン（すべての生徒にとって学びやすい学習環境の整備）の視点を意識することで、日々の授業で生徒が「できた」「分かった」と実感できるような授業づくりに全職員で取り組みます。

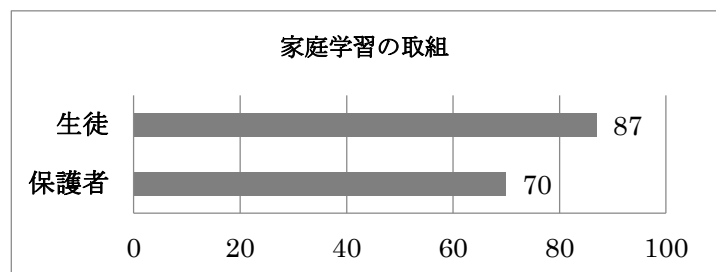
## 目標 3

家庭学習が習慣化している生徒を80%以上にする	評価 A
-------------------------	------

（「毎日家庭学習を行っている」割合が A：80%以上 B：60%以上～80%未満 C：60%未満）  
= アンケート質問 = (H27.12月実施)

○ 平日、家で予習や復習などの家庭学習を行っていますか。

- 1 毎日行っている
- 2 だいたい行っている
- 3 行わないことが多い
- 4 ほとんど行わない



\* 7月 生徒 (86) 保護者 (71)

## <学校から>

家庭学習への取組状況（平日、毎日家庭学習をしている）は、1年生が93%（1学期96%）、2年生が80%（1学期82%）、3年生が86%（1学期81%）、全校平均が87%（1学期86%）でした。家庭学習が習慣化している生徒の割合が8割の水準を維持しています。1時間以上家庭学習をする生徒の割合は64%（新潟県平均62%）です。（3ページの参考資料をごらんください）

また、参考資料のとおり、すべての学級で取り組んでいる「自学ノート（家庭で学習した内容を書いて提出する）」の2学期の提出率も全校で82%と良好でした。昨年と比べても10%以上提出率が向上しています。

今後は、家庭学習強調旬間で進めてきた「自学ノートに学習内容を1ページ以上書いて提出すること」「学年の学習目標時間を示して目標をもって学習させること」を日常化させ、家庭学習の質と量の向上を図っていきます。

◆参考資料◆

1 平日、1日あたりの家庭学習時間 (H27.12月調査 数字は%)

	2時間以上	2～1時間	1時間～30分	30分未満	ほとんどしない
1年生	6	57	31	5	1
2年生	4	44	38	12	2
3年生	48	31	12	7	2
全校	20	44	27	8	1

2 「自学ノート」の提出率 (数字は%)

1学期	1年	2年	3年	全校
	95	77	83	86

2学期	1年	2年	3年	全校
	93	73	88	82

3 NRT (標準学力検査 H27.4実施) の結果 (平均 50)

教科	1年生	2年生	3年生
国語	53.7	50.7	49.4
社会	51.9	49.1	48.8
数学	53.3	50.2	48.5
理科	50.6	48.4	47.7
英語		50.6	47.8

「知・**徳**・体」の評価

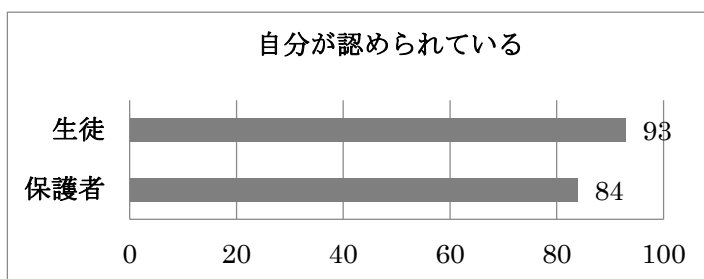
目標 4

学級のなかで「自分が認められている」と感じる生徒を85%以上にする	評価 <b>A</b>
-----------------------------------	-------------

(「とても」or「まあまあ」の肯定評価が A 85%以上 B 85%未満～60% C 60未満)  
 = アンケート質問 = (H27.12月実施)

○ 学級の中で自分が認められていると感じていますか。

- 1 とても実感している
- 2 まあまあ実感している
- 3 あまり実感していない
- 4 全く実感していない



\* 7月 生徒 (93) 保護者 (85)

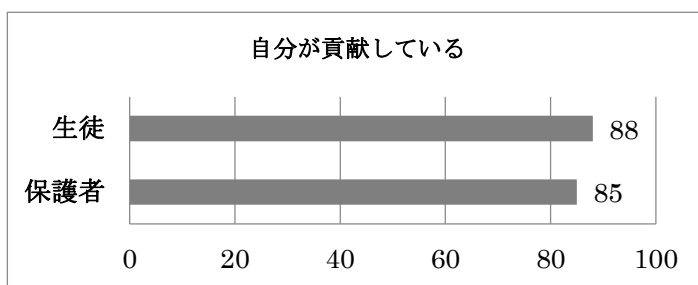
目標 5

学級、学校のなかで「自分が貢献している」と感じる生徒を75%以上にする	評価 <b>A</b>
-------------------------------------	-------------

(「とても」or「まあまあ」の肯定評価が A 75%以上 B 75%未満～60% C 60未満)  
 = アンケート質問 = (H27.12月実施)

○ 学級、学校の中で自分が貢献していると感じていますか。

- 1 とても実感している
- 2 まあまあ実感している
- 3 あまり実感していない
- 4 全く実感していない



\* 7月 生徒 (87) 保護者 (86)

## <分析と改善策>

当校では、子どもたちに、自尊感情（他者との関わり合いを通して、自分をかけがいのない存在、価値のある存在としてとらえる気持ち）を育むことを大切にしています。

生徒の評価では、「認められている（存在感）」93%（1学期93%）、「貢献している（効力感）」88%（1学期87%）と、全国的に見ても非常に高い水準を維持しています。

2学期は、多くの生徒がそれぞれのよさやもち味を發揮しながら体育祭・合唱コンクール等の学校行事や部活動、生徒会活動に取り組み、自己存在感や自己効力感を高めることができました。また、1月には、生徒会主催の「思いやりの心～感謝の気持ちを伝えよう」という活動を行いました。これもお互いの「関わり」を深め、自尊感情を高める取組です。

今後も、互いのよさを認め合うメッセージ交換等の異学年交流を継続し、一人一人が自尊感情を高め、共感的で受容的な人間関係を築こうとする態度を育てます。また、毎月1回の「学級での話し合い活動」や「ライフスキル（自他を大切にし、互いに認め合う活動）」を計画的に実践し、居心地の良い学級集団づくりを進めます。加えて、生徒のよさや頑張りを認める声掛けを職員が積極的に行い、本丸中学校の合い言葉である「リスペクト精神（お互いを尊敬し、大切に思う気持ち）」を育みます。

## 目標 6

差別や偏見を見過ごさない生徒を100%にする	評価 B
------------------------	------

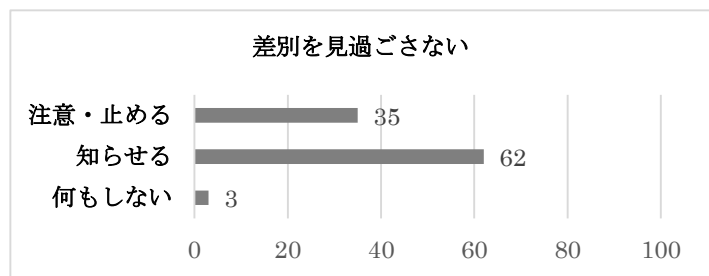
（差別や偏見に対して「注意・止める」「知らせる」生徒の割合が

A：100% B：90%以上100%未満 C：90%未満）

= アンケート質問 = (H27.12月実施)

○ いじめを受けている人がいたらどうしますか。

- 1 注意したり止めたりする
- 2 先生や家族や友達に知らせる
- 3 何もしない



\* 7月 注意・止める (33) 知らせる (61) 何もしない (6)

## <学校から>

2学期は、10月と11月を「いじめ見逃しゼロスクール強調月間」と位置づけ、生徒会では、各委員会で、あいさつ運動やいじめに関する本の紹介、感謝のメッセージのプレゼント、いじめ見逃しゼロのポスター作成など、「いじめ見逃しゼロ」に向けた取組を行いました。また、これらの活動のまとめとして、11月にいじめ対策委員会が中心となって「いじめ見逃しゼロスクール全校集会」を行いました。集会では、生徒会本部が作成したSNSに関するいじめのビデオを上映し、その後、教室で一人一人が「いじめをなくすためのメッセージ」を書き、掲示しました。

12月に実施した生徒アンケートでは、「いじめはどんな理由があってもいけない」と考えている生徒は98%（1学期98%）でした。一方、いじめに対して「何もしない、できない」生徒が3%（1学期6%、昨年の2学期9%、昨年の1学期10%）と、少しずつですが「思い」を「行動」に移すことができる生徒が増えています。

今後も、すべての生徒が勇気をもっていじめを見逃さない、許さないという言動がとれることを目指し、毎年2回実施している「いじめ見逃しゼロスクール強調月間」の活動が、より生徒の自主的な活動になるように工夫していきます。

「知・徳・**体**」の評価

目標 7

体力テストで課題となった項目が2学期末に向上した生徒を80%以上にする	評価 B
-------------------------------------	------

体力テストの体力合計点（8種目）の対全国偏差値（全国平均50）の推移（H27.5月実施）

	H25	H26	H27		1年生	2年生	3年生
全校男子	50.9	52.9	52.8	男子	51.7	56.6	50.2
全校女子	48.4	49.6	50.2	女子	52.1	53.0	45.4

（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m、立ち幅跳び、ハンドボール投げ）

2回目の2回目の体力テスト（12月実施）で数値が向上した生徒は1年生70%、2年生79%であった。

目標 8

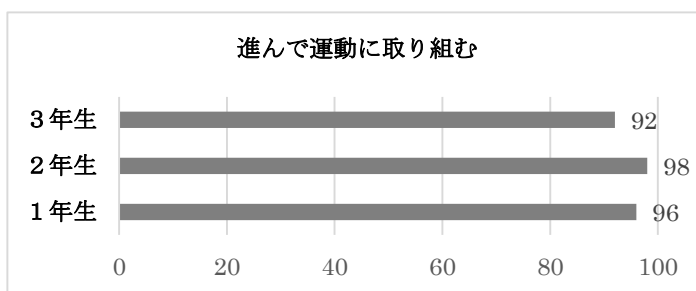
進んで運動に取り組む生徒を85%以上にする	評価 A
-----------------------	------

（「とても」or「まあまあ」の肯定評価が A 90%以上 B 90%未満～70% C 70%未満）

= アンケート質問 = (H27.12月実施)

○ 体育や部活動で、体力の向上や技術の向上に向けて進んで取り組みましたか。

- 1 よくあてはまる
- 2 あてはまる
- 3 あまりあてはまらない
- 4 あてはまらない



\* 7月 3年生 (97) 2年生 (97) 1年生 (87)

<分析と改善策>

体力テストの対全国偏差値の推移を見ると、男子は常に全国平均を超えています。男子と比較すると女子が低い傾向にありましたが、今年度は改善の傾向が見られます。特に2年生の数値は良好です。残念ながら、3年生の女子は全国平均を下回りました。

個別の種目に注目すると、以下の種目や学年で全国平均を下回っています。

- ・全学年男女のハンドボール投げ
- ・2年生の男子以外の50m走と立ち幅跳び

課題の改善に向けて、2学期以降、授業の導入での補強運動や授業の中で、短距離ダッシュ、スクワットジャンプ、キャッチボール等を取り入れました。その結果、12月に実施した2回目の体力テストで数値が向上した生徒は1年生70%、2年生79%で、目標まではあと一歩でした。当校の大きな課題であったハンドボール投げに関しては、昨年度より意識的に練習を行い、2回目の体力テストで数値が向上した生徒は1年生50%、2年生61%でした。

今後は、ハンドボール投げ、50M走、立ち幅跳びに関しては、毎時間の導入の中で効果的なトレーニング方法を考えていきます。また、普段の授業の取り組み方を再確認するとともに、自己の体力に関して興味をもたせ、体力テストへの意識を上げていきます。

目標 9

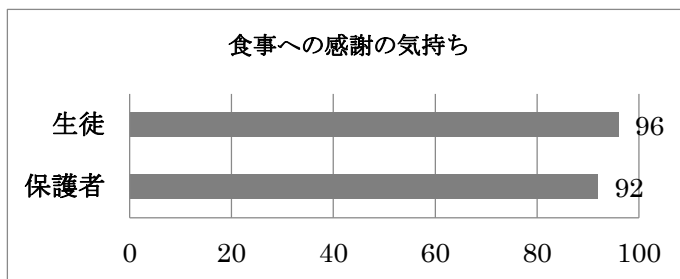
感謝の気持ちをもちながら食事ができた生徒を90%以上にする	評価 A
-------------------------------	------

(「とても」 or 「まあまあ」の肯定評価が A 90%以上 B 90%未満～70% C 70%未満)

= アンケート質問 = (H27.12月実施)

○ 食事のとき、食物や生産者、料理をつくってくれた人に感謝しましたか。

- 1 感謝の気持ちをもてた
- 2 まあまあ感謝の気持ちをもてた
- 3 あまり感謝の気持ちがもてなかった
- 4 全く感謝の気持ちがもてなかった



\* 7月 生徒 (94) 保護者 (87)

<学校から>

生徒が食に対する正しい知識を身に付け、日々の生活の中で実践ができるように、地産地消(新発田市の食材)や学校給食と関連付けた指導を行っています。3学期には、1月25日(月)～29日(金)に「給食もったいない週間」として、給食に関するDVDの視聴、交流給食、残量調査などの取組を行いました。交流給食では、普段お会いすることのない調理員さんや生産者の方を前に、恥ずかしそうにしながらも、質問に答えていただいたり、お話ししたりしながら、食べ物や作ってくださった方への感謝の気持ちを高めていました。

2学期の生徒の評価では、感謝の気持ちをもって食事ができた生徒が全校96%(1学期94%)と高評価でした。しかし、感謝の気持ちをもちながらも、苦手なものが出ると、全く食べずに残してしまう生徒や感謝の気持ちがもてなかった生徒がまだ若干名います。

今後は、食事作法や会食の大切さに関する指導に関して、再度共通理解を図るとともに、食べ物に対する「いただく」「もったいない」「ありがたい」という気持ちが高まるように指導していきます。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

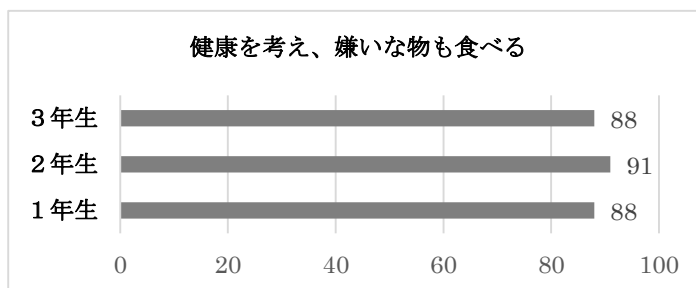
◆参考資料◆

「食事できらいなものがでた時はどうしていますか」

(A 健康を考え、全部食べる B健康を考え、少し食べる C 食べないで残す)

生徒アンケート H27.12月実施 (数字は%)

	A	B	C
1年生	47	41	12
2年生	57	34	9
3年生	51	37	12
全校	52	37	11



\* 7月 3年生 (86) 2年生 (93) 1年生 (91)

教科	1年生	2年生	3年生
国語	53.7	50.7	49.4
社会	51.9	49.1	48.8
数学	53.3	50.2	48.5
理科	50.6	48.4	47.7
英語		50.6	47.8

平成26年度本丸中学校「学校評価」中間報告

教科	1年生	2年生	3年生
国語	53.7	50.7	49.4
社会	51.9	49.1	48.8
数学	53.3	50.2	48.5
理科	50.6	48.4	47.7
英語		50.6	47.8

本丸中学校では教育活動を充実させ「本丸中学校グランドデザイン」の実現に向けて学校評価を行っております。生徒・保護者による1学期末のアンケート結果（7月実施）を基に、教職員が「知・徳・体」の各分野に分かれて自己評価し、改善策を立てました。これらの結果を中間報告として下記のようにお知らせいたします。なお、各目標に記載してある評価A

～Cは、学校が設定した目標への到達度を示す自己評価です。

2 全国学力・学習状況調査における平均正答率の新潟県の傾向

新潟県	H24	H25	H26
国語A	-0.1	0.1	0.1
国語B	-0.6	-0.8	-0.7
数学A	-1.1	-1.0	0.5
数学B	-2.0	-2.3	0

教科	1年生	2年生	3年生
国語	53.7	50.7	49.4
社会	51.9	49.1	48.8
数学	53.3	50.2	48.5
理科	50.6	48.4	47.7
英語		50.6	47.8